

中部公民館だより No.1 平成27年6月発行

発行：(公財)奈良市生涯学習財団 中部公民館 〒630-8228 奈良市上三条町 23-4
TEL 0742-26-6506 FAX 0742-26-3263 E-mail chubu@manabunara.jp



このたび、当館では公民館だよりを発行することとなりました。
公民館の主催事業や自主グループ活動の紹介、ご案内などを掲載することで、
中部公民館のことを今まで以上に知っていただく機会になれば幸いです。
年に4回発行しますので、よろしくお願いたします。(館長 中川 里美)

ただいま募集中！ 〈主催講座のご案内〉

講座の案内は「ならしみんだより」にも掲載されています。
詳細については(公財)奈良市生涯学習財団ホームページ <http://manabunara.jp> を
ご覧いただくか、中部公民館までお問合せください。

自分探し講座 ～これが私の生きる道～

託児あり

6月26日(金)

「今の自分の状態を知ろう！」自己チェックワーク

講師：スムーシー専門店 DRINK DRANK
代表 平野 奈津さん

7月3日(金)

平野奈津さんを中心とした
「輝く女性たちのトークショー」

時間：10時30分～12時

会場：中部公民館 3階視聴覚室

対象：奈良市在住・在勤・在学の成人女性 20人

※託児は事前に申込が必要。託児対象は6ヶ月～就学前まで。

申込締切 6月18日(木)必着

申込の備考欄に、託児が必要な場合はお子様の名前・性別・月齢を記入。
必要ない場合は託児不要と記入してください。

知っとこ！奈良 ～伝香寺の着せ替え法要～

伝香寺や春日地蔵の歴史、
大変珍しい着せ替え法要の
伝統等を中心とした講演会です。
奈良の魅力を再発見しましょう！



7月8日(水)

講師：伝香寺住職 西山 明彦さん

時間：14時～15時30分

会場：中部公民館 4階講座室

対象：奈良市在住・在勤の成人 60人

申込締切 6月24日(水)必着

奈良大学公開講座

「夏の夜話2015」

「仲間意識」で見る社会

7月10日(金)「みんな仲良く」の落とし穴

講師：社会学部 総合社会学科 教授 中原 洪二郎さん

7月17日(金) 中国人の仲間意識

講師：社会学部 総合社会学科 教授 芹澤 知広さん

7月24日(金) 仲間意識と甘え

講師：社会学部 総合社会学科 教授 山口 勸さん

時間：18時～19時30分

会場：中部公民館 4階講座室

対象：成人 60人

申込締切 6月30日(火)必着

1通の申込みで全3回分の申込みとなります。

奈良市子育てスポット事業

おやこひろば

親子で一緒に遊べるフリースペースです。
めずらしい木のおもちゃがたくさんあります。
元保育士による手遊びや絵本の読み聞かせの時間もあり、
楽しく過ごせますので、お気軽にお越しください。

開催日：原則第2・4火曜日

6月9日・23日

7月14日・28日

8月11日・25日

9月8日・29日(第5週)

※開催日は急きょ変更となることがあります。

これ以降の開催予定日についてはホームページをご覧ください。
中部公民館までお問合せください。

時間：10時30分～15時

(12時～13時はランチタイム、各自持参)

会場：中部公民館 4階講座室

対象：未就園児と保護者

※飲み物など必要な物は各自ご持参ください。

申込不要・入場自由



【講座の申込方法】※申込締切翌日以降に受講可否にかかわらず申込方法に応じて通知をお送りします。

往復はがき ①講座名②〒住所③名前・ふりがな④電話番号⑤年齢⑥性別を記入して、
中部公民館(〒630-8228 奈良市上三条町 23-4)までご送付ください。※返信用に宛名を記入してください。

ホームページ (公財)奈良市生涯学習財団ホームページ <http://manabunara.jp>
講座案内のページの参加申し込みフォームよりお申込みください。※メールアドレスが必要です。

※定員を超えた場合は抽選となりますので予めご了承ください。満たない場合は締切後も募集することがありますので、中部公民館までお問い合わせください。



主催事業紹介 その1

「一話完結！西山厚が読む春日権現験記」

平成27年3月から平成28年11月にかけて、春日大社では第六十次式年造替に伴い、さまざまな儀式が行われます。768年の春日大社の創建以来、1200年に渡りほぼ20年ごとに継続して行われている式年造替を、地元である奈良市民のみなさんにもっと関心を持っていただけるよう、さまざまな催しが行われています。

中部公民館でも、春日大社第六十次式年造替記念奉祝行事実行委員会と共催し、「一話完結！西山厚が読む春日権現験記」を開催しています。この講座では、春日大社の貴重な資料であり、中世を代表する社寺縁起絵巻、「春日権現験記」(全20巻)を読み解きます。1回の講座で2巻ずつ、2ヶ月ごとに1回のペースで開催する予定となっています。

講師は帝塚山大学文学部文化創造学科教授の西山厚さん。
まずは配布資料を見ながら、詞書を読み解き、その後スクリーンに投影された絵を見ながら、さらに詳しく解説する形で講義が進みます。当時の時代背景などを踏まえながら、時にはユーモアを交えて、詞書と絵をわかりやすい表現や言葉で解説して下さるので、一見難しいように思う「春日権現験記」の世界が、春日明神の靈験の数々を体験する藤原氏の貴族や庶民などの登場人物に感情移入してしまえるほど生き生きとしたものに思えるのです。



既に第1回(平成27年1月31日開催)、第2回(平成27年4月25日開催)まで実施しましたが、毎回300人を超える方々が、広い会場内に所せましと詰めかけてくださっています。

受講されたみなさんからも大変好評で、「詞書と絵の関係がわかりやすい」(70歳代・男性)、「軽妙な語りながらも、深い内容で大変楽しく学べた」(60歳代・男性)等の感想をいただいています。

第3回(平成27年6月20日開催)の受講者募集は終了しましたが、8月以降も開催する運びとなっております。なお、講座名に「一話完結！」と銘打っているとおり、各回講座で2巻ずつ、1回ごとに完結させる形となっており、連続して受講しなければわからない講座ではありませんので、初めて受講する方でも十分に楽しんでいただけるものと思います。

講座情報については、「ならしみんだより」及び「奈良市生涯学習財団ホームページ」に掲載するだけでなく、募集期間には館内にチラシを設置しますので、ぜひお手に取ってご覧ください。



主催事業紹介 その2

「中部公民館30周年記念祭」(平成27年2月18日～22日)

中部公民館では年に1回、当館で活動する自主グループの日頃の学習成果を披露する機会として、「文化まつり」を行っています。昨年度(平成26年度)は、中央公民館(現在は中部公民館)が現在の場所に開館してから30周年という節目に当たることもあり、普段の「文化まつり」より規模を大きくした「30周年記念祭」を開催しました。自主グループのみなさまによる舞台発表、作品展示、料理販売をはじめ、各種イベントを行い、5日間で1257人の方が来館してくださいました。

| 【作品展示】2月18日～22日 | | 【舞台発表】2月21日・22日 | | 【料理販売】2月21日・22日 | |
|-----------------|-----------|-----------------|---------|--------------------------|-----------|
| こまどり俳句会 | 三彩会 | 青空保育あひるの森 | うたごえつぐ | 韓国料理リゲ会 | 青空保育あひるの森 |
| 市民美術同好会 | 奈良華幸会 | ギターサークルセシリア | 悠々会 | アンチエイジング料理塾 | 奈良おはなしの会 |
| 寧楽拓本表装同好会 | 寧楽水彩会 | 奈良市手話サークル鹿の子 | 奈良吹奏楽団 | 【ファミリーコンサート】2月21日 | |
| フォトグループまほろば | まほろば4期同窓会 | フラサークルティアレ | 朗読の会わだち | NPO法人 salon de kid's ネット | |
| 【特別記念イベント】2月22日 | | | | | |



「トークイベント～知れば知るほど好きになる奈良 第2弾～」では、古都奈良の素晴らしさを奈良から発信するトップランナーである3人の先生方に奈良の魅力を語っていただきました。

- ◆「春日曼荼羅の世界」 帝塚山大学文学部文化創造学科教授 西山厚さん(右)
- ◆「発掘十萬葉集で大バクチ」 奈良文化財研究所主任研究員 馬場基さん(左)
- ◆「『万葉集』に読まれた平城京」 奈良県立万葉文化館主任研究員 井上さやかさん(中央)

それぞれがどんなテーマで語るかは当日までのお楽しみ。しかも自分の話をするだけでなく、他の先生の話に対して必ず1つ質問をしなければいけないという取り決めがあり、質問から話が広がったり脱線したり！？どんな話が飛び出すか、聞いている私たちだけでなく、先生方のほうもワクワクされていたのではと思えるほど楽しそうでした。

30周年記念祭の最後を飾るのは、公益社団法人南都楽所のみなさまによる、舞楽「蘭陵王」です。

実は昭和59年4月21日の開館記念式典で祝儀舞として奉納いただいたのも、南都楽所の「蘭陵王」だったことを依頼した後に知り、不思議な縁を感じました。

30年もの時を経て、またこうして同じ舞台に立っていただけたことに感謝するとともに、30周年を無事に迎えることができた喜びを胸に、これからの中部公民館の門出にしていけるよう、職員一同気持ちを新たに頑張っていきたいと思いました。

